

2012年5月24日

米国研究製薬工業協会

< ニュースリリース >

## 米国研究製薬工業協会 ジョン・レックライター会長、メディアラウンドテーブルを開催

米国研究製薬工業協会 (PhRMA: Pharmaceutical Research and Manufacturers of America)、ジョン C. レックライター会長 (John C. Lechleiter, イーライリリー・アンド・カンパニー会長、社長兼最高経営責任者) は、PhRMA デーのために来日し、5月23日東京都内で報道関係の皆様を招き「医療イノベーションの恩恵を享受するために」と題したラウンドテーブルを開催しました。

ラウンドテーブルには、16名の報道関係者が出席しました。初めに、レックライター会長は、日本や米国、そして海外の国々における、ヘルスケア産業や医薬品開発を取り巻く環境について述べ、イノベーションの研究開発と提供が社会にもたらす貢献とその意義について話しました。そして、「新薬開発は、研究開発志向型の製薬会社にとって何よりも優先すべき責任」であるとして、PhRMA 加盟企業が現在 3000 種近くの新薬を開発中で、また過去 5 年間で企業から報告された臨床試験プロジェクトは 15 パーセント増加したと紹介しました。その中でも日本は開発においてリーダーシップを取っていると評価し、日本がグローバルな新薬開発への関わりと貢献をさらに高めるための環境強化をめざした 4 つのポイントを紹介しました。その後、報道関係者と日本や海外での医療イノベーションに関する意見の交換を行い、活発なディスカッションが行われました。

レックライター会長は、1979年に米国イーライリリー・アンド・カンパニーにプロセス研究開発部の上級有機化学研究員として入社しました。開発や薬事、企業開発の要職を経て、2005年社長兼最高執行責任者 (COO) を務めた後、2008年4月には社長兼最高経営責任者 (CEO)、12月には会長、社長兼最高経営責任者 (CEO) に就任しました。本年4月より PhRMA 会長を務めています。

PhRMA では、毎年春に米国より会長が来日して、政府高官、国会議員、報道関係者や医療関係者などに日本国内外でのヘルスケアの課題に関する PhRMA の考えを説明し、これらの重要なステークホルダーとイノベーションを推進する製薬業界とのコミュニケーションを深める活動を行っています。

###

### ● PhRMA Japan

PhRMA Japan は、米国の研究開発志向型製薬企業の日本法人で構成されており、画期的新薬が開発できる環境や患者さん中心の医療制度の確立に向けて 25 年以上に渡って活動を続けています。加盟企業は、Amgen Inc.、アボット・ジャパン株式会社、MSD 株式会社、日本イーライリリー株式会社、バイオジェン・アイデック・ジャパン株式会社、ファイザー株式会社、ブリストル・マイヤーズ株

式会社、ムンディファーマ株式会社、ヤンセンファーマ株式会社(五十音順)の9社です。2012年、日本オフィス開設25周年を迎えました。

- 米国研究製薬工業協会(PhRMA)

PhRMAは、米国で事業を行なっている、主要な研究開発志向型製薬企業とバイオテクノロジー企業を代表する団体です。加盟企業は新薬の発見・開発を通じて、患者さんがより長く、より健全で活動的に暮らせるよう、先頭に立って新しい治療法を探求しています。加盟企業の新薬研究開発に対する2010年の投資額は約494億ドルで、製薬業界全体の投資額は過去最高の674億ドルに達しました。

- PhRMA ホームページ: <http://www.phrma-jp.org>
- 米国 PhRMA ホームページ: <http://www.phrma.org>

【本件に関するお問い合わせ】  
PhRMA 広報事務局(MSL Japan 内)  
担当: 池井 / 大澄  
Tel: 03-5719-8938 Fax: 03-5719-8919  
E-mail: [phrma@msljapan.com](mailto:phrma@msljapan.com)